



心にたねをまこう

真庭市立勝山小学校 学力向上通信 R3. 12. 22 No1

いろいろなたねを ～学力向上通信を発行するにあたって～

「そうか、そういうことか!」「できたー!」「おもしろいね。」「ふしぎだなあ。」

授業中に、子どもの目がキラキラする瞬間があります。そういう姿をみると、こちらまでうれしくなります。子どもたちの健やかな成長を願う気持ちは、保護者のみなさんも私たち学校の職員もきっと同じだと思います。

子どもたちは、家で、学校でいろいろなことを学んでいきます。「ふしぎのたね」「びっくりのたね」「すごいたね」等いろいろな種類のたねを植えましょう。周りのことに興味をもち、知りたいな、できるようになりたいなと思うことが、自主的な学びを育てていきます。そして、よく考え、正しく判断できる力をつけます。子どもたちのサポーターとして、一緒に子どもたちの心にたねをまき、見守っていきましょう。



さて、昨年に続き、今年も参観授業後の学校状況説明会において話をする機会をいただきました。そこでお話ししたのは、現在の勝山小の課題・実態とこれから力を入れていきたいことについてです。

全国・県の学力学習状況調査や標準テスト（NRT）の結果からわかる勝山小学校の課題は、以下の通りです。

勝山小の学力にかかわる課題

- 文章が長くなると、どんな内容なのか、何が問われているのかわからない。
- 漢字、計算など基礎・基本ができていない。
- 書くことや説明することを苦手としている。
- 家庭学習時間が、各学年のめやすより短い。（低30分、中45分、高60分以上）

もちろん、すべての子どもがそうだというのではなく、勝山小だけがそうだというわけでもありません。しかし、文章を読み取ったり、考えたり、書いたり、説明したりすることは、とても大切な力です。基礎・基本もしっかり。

すべての子どもたちに確かな学力をつけるために、学校としても授業改善や基礎・基本の定着に力を入れていきます。昨年度からの勝山漢字に加え、今年度はタブレットを活用した学習（eライブラリ）に取り組んでいます。また、総合的な学習の時間を中心に、考えたり、話し合ったり、自分の考えを書いたりすることを大切にした授業を行っています。

そして、保護者のみなさんにも協力していただきたいことがいくつかあります。子どもたちの未来のために、できることから取り組んでいただけると嬉しいです。

子どもたちの未来のために

低30分 中45分 高60分

1 家庭学習時間・eライブラリの活用について

勝山小では、毎年4月の参観日で家庭学習についてのプリントを配付しています。家庭学習時間のめやすは、**低学年30分、中学年45分、高学年60分**です。学校で習ったことを「わかる」から「できる」ようにするには、繰り返し練習することが大切です。

今、2年生は九九の練習を毎日一生懸命にがんばっていますが、家庭でも繰り返し練習し、聞いていただいているおかげで、たくさんの子が暗唱できるようになってきました。(低学年では、とくに保護者のみなさんのお力が必要です。いつもありがとうございます。)

毎日きちんと宿題に取り組むことは、学習習慣をつけることにもつながります。eライブラリや自学にも、進んで取り組んでほしいと思います。

タブレットを活用しよう

*冬休みには、タブレットを持ち帰ります。eライブラリは、学年をまたいで苦手なところを学習するのに適しています。どんどん活用してください。自分のページには「たね」があり、たくさん取り組むと芽が出て大きく育っていくのだそうです。葉っぱが何枚も出ている子どももいますよ。



ただし、続けての使用は目に負担がかかります。ブルーライトは、体内時計にも関係しているため、睡眠障害が起こるといわれています。

続けて長時間しないこと(30分画面をみたら20秒遠くを見て目を休める・時間を決めてする)、就寝1時間前にはやめることを学校でも指導します。スマホ・ゲームについても同じです。ご家庭でも、ルールを決めてからの使用をお願いいたします。(文科省HPより)

できることから

2 いろいろな体験・経験をさせよう

冬休みっていろいろな体験ができますよね。大掃除、料理、正月準備等、普段あまりしないようなこともチャレンジさせてみてはいかがでしょうか。4年生の理科の授業では「冬の星座をみましょう。」と呼びかけていました。寒さは厳しいですが、冬の星空はとてもきれいです。オリオン座や北斗七星、カシオペア座、北極星が見つかるでしょうか。



コロナ禍でなかなか遠くに出かけることはできませんが、ファミリー見学旅行はいかがでしょうか？見学旅行後に、「楽しかったので、家族でまた行きました。」という話も時々聞きます。勝山の町並み保存地区・歴史資料館・武家屋敷も、「近すぎていったことない」子どもがいるかもしれません。ついでに中央図書館に行って本を借りましょう。子どもたちにいろいろな体験・経験を。それが、自主的な学びにつながっていくと思います。

取り組んだことは、ぜひ「冬休み勝山大賞」で報告してください。お待ちしております。